

神戸市西区で発見されたカミツキガメ

谷口真理・山崎貴良

654-0049 神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

The Snapping turtle (*Chelydra serpentina*) which was caught in Nishi-ku, Kobe city

By Mari TANIGUCHI and Takayoshi YAMAZAKI

Kobe-Suma Aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, 654-0049, Japan

2012年10月18日、市民から「みたこともない大きなカメがいる。早く来てくれ！」との連絡を受け、著者らで現地へ調査に向かいました。神戸市西区伊川谷町長坂付近の現地へ着くと、高さ約2m、幅約1.5mほどの水路にカメを発見・捕獲しました(図1・図2)。捕獲したカメはその甲羅や頭部の特徴から、カナダ南部からメキシコにかけての北米大陸東部と中米の点在した地域に生息するカミツキガメ*Chelydra serpentina*とわかりました(Ernst et al, 1994)。大きさは背甲長26.3cm、腹甲長19.2cm、背甲幅長22.2cm、体重4.3kgでした。本種は日本において1990年代には年間約1万匹がアメリカ合衆国から輸入されていましたが(安川, 2003)、2005年に施行された外来生物法により特定外来生物に指定され、現在では飼育、運搬、保管、輸入、遺棄、譲渡・販売が規制されています。おそらくこのカミツキガメは誰かによって飼育された個体が捨てられたものと考えられました。



図1. カミツキガメが発見された神戸市西区伊川谷町長坂付近の水路



図2. 発見されたカミツキガメ

引用文献

Ernst, C. H., J. E. Lovich and R. W. Barbour. 1994. Turtle of the United States and Canada. Smithsonian institution Press, Smithsonian. p.2-18.

安川雄一郎. 2003. カミツキガメ科の分類と自然史 (後編). クリーパー 19:4-23.